

ナンバリング 科目名	ソフトウェア開発プロセス特論		担当者職 氏名	単位数 0単位
授業概要とテーマ	Personal Software Process (PSP)は、ソフトウェアシステムの開発者が、個人レベルの開発の目的を達成するために、開発プロセスを自己で管理すること、ならびに、その能力を継続的に高めていくことを目的としたプロセスの手法である。本講義では、このPSPの紹介と、その実習を行う。計画立案に必要な開発ソフトウェアの規模と開発時間の見積もり方法をテーマに講義と実習を行う。			
到達目標	ソフトウェア開発における個人レベルでの開発プロセスの重要さの理解、ならびに、個人レベルでの、ソフトウェア開発の計画立案に必要な開発ソフトウェア規模と開発時間の見積もり手法の習得。			
授業計画 (主題/内容)	1	PSPの紹介	個人レベルのソフトウェア開発プロセスの定着と改善のための、PSPについて紹介する。	
	2	開発プロセスの現状確認	PSP0の説明と実習により、各自の開発プロセスについて、現状を確認する。	
	3	ソフトウェア開発規模見積もり基礎	ソフトウェア開発規模見積もりに関する講義を行う。	
	4	ソフトウェア開発規模見積もり基礎	ソフトウェア開発規模見積もりと計測プログラム開発の実習 PSP0.1について説明する。	
	5	ソフトウェア開発規模見積もり基礎	ソフトウェア開発規模見積もりと計測プログラム開発を行う PSP0.1の実習を行う。	
	6	ソフトウェア開発規模見積もり基礎	ソフトウェア開発規模見積もりと計測プログラム開発を行う PSP0.1の実習の続きを行う。	
	7	プロキシに基づく見積もり	プロキシに基づく見積もりの手法 PROBE法(PROxy Based Estimation) について講義を行う。	
	8	プロキシに基づく見積もり	プロキシに基づく見積もりの手法 PROBE法の実習を行うPSP1について講義を行う。	
	9	プロキシに基づく見積もり	プロキシに基づく見積もりの手法 PROBE法の実習を行うPSP1の実習を行う。	
	10	プロキシに基づく見積もり	プロキシに基づく見積もりの手法 PROBE法の実習を行うPSP1.1について講義を行う。	
	11	プロキシに基づく見積もり	プロキシに基づく見積もりの手法 PROBE法の実習を行うPSP1.1の実習を行う。	
	12	プロキシに基づく見積もり	プロキシに基づく見積もりの手法 PROBE法の実習を行うPSP1.1の実習の続きを行う。	
	13	個人レベルのプロセスの改善	計画立案技術の習得による開発プロセスの変化について説明を行う。	
	14	個人レベルのプロセスの改善	計画立案技術の習得による開発プロセスの変化に関する中間レポートを作成する。	
	15	まとめと発展	振り返りとさらなる発展についての講義と実習を行う	
	16	定期試験は実施しない	成績評価については「成績評価の方法」欄参照	
成績評価の基準	A・・・90～100点 B・・・80～89点 C・・・70～79点 D・・・60～69点 F・・・59点以下	成績評価の方法	課題レポートの提出状況と平常点	
テキスト	PSPガイドブック (翔泳社)			
参考文献	適宜指示する			
科目のキーワード	個人レベルの開発プロセス, PSP, 計画立案, 見積もり, 継続的改善			
授業の特徴	ソフトウェア開発の見積もりと計画ができることの重要性を実感することを目指した講義と演習			
関連科目	プログラミング演習, ソフトウェア工学			
履修上の注意等 (履修条件等)	一つ以上のプログラミング言語で実際に動作するプログラムを仕様通り開発できることが履修の前提に含まれる			